

公共空間活用プロジェクト「スキマノススメ」で 「青空図書館」を開催します

東京工業大学真野研究室「ナカツノスキマ」のみなさんによる「中津川空き地活用プロジェクト」の一環として開催する公共空間活用プロジェクト「スキマノススメ」において、中津川市立図書館が「青空図書館」として参加します。

■日時

令和3年10月31日（日） 10:00～17:00

■場所

中津川市都市緑地公園（中津川市えびす町1）

■主催

東京工業大学真野研究室「ナカツノスキマ」

■協力

中津川市立図書館

■公共空間活用プロジェクト「スキマノススメ」の内容

10:00～16:00 「青空図書館」

図書館の絵本、大型絵本など、青空の下で自由にお楽しみください。

11:00頃～ 「いちかわあつきさんの読み聞かせ」

* 劇車銀河鉄道いちかわあつきプロフィール

中津川市在住の語り家。自作の芝居公演の他、童話や文学作品などの“ひとり語り”というスタイルで活躍中

14:00～ 「ランタン作り」

ハロウィンにちなみ、自分で装飾したランタンを作ります。

作成後は、みんなでライトアップします。

参加費：無料

定員：20人（14:00から参加受付）

お問い合わせ先

文化スポーツ部 図書館 担当者：小池

電話：0573-66-1308

スキマノスキマ

10 | 31 | 日

10:00-



公園の新しい使い方や過ごし方を体感してみませんか？楽しいイベントに参加してみたり、公園の芝生・椅子・パレットに座ったり、寝転んで本を読んだり、おしゃべりしたり…思い思いの時間を過ごしてみましよう。

14時受付開始！

おそとで読もう！
青空図書館

みんなで灯そう！
ランタン作り



公園で本を楽しみませんか？
いつもとは違う雰囲気、めずらしい大きな絵本やハロウィンの季節にピッタリの楽しい絵本をたくさん準備しています！！自分だけのお気に入りの本を見つけてね♪



自分好みに装飾できるオリジナルのランタン作り♪夕方にはみんなで一緒にライトアップして、素敵な空間を一緒に作りませんか？ランタンは持ち帰っておうちに飾ることもできるよ！！



参加費：無料！
定員：20名

新型コロナウイルス感染症対策

マスクの着用、入口での手指の消毒にご協力をお願いします

日時 | 10 | 31 | SUN
10:00-

場所 | 中津川市都市緑地公園
(ルビットタウン向かい)



主催：ナカツノスキマプロジェクト
(東京工業大学真野研究室)
協力：中津川市立図書館

企画者 INTERVIEW 中津川市立図書館

今回の企画を一緒に行う図書館さんにお話をお聞きしました。今回の青空図書館への想いや普段の図書館さんが取り組まれていることなど、今まで知らなかったお話をたくさんお聞きできました！

中津川市立図書館 館長小池さん、吉村さん

Q. 今回の企画はどうして行うことになったんでしょうか？

A. 今までの図書館の活動は図書館内で完結していることが多かったので、普段利用しない層にアピールしたいと思っていましたから。以前から図書館以外での活動はやりたいとは思っていたのですが、なかなかやれなかった中で昨年の六斎市での活動など真野研に声をかけてもらったという感じです。



Q. 今回の企画にはどんなことを期待していますか？

A. 図書館のイメージとして一般的に「固いところ」といったものがあるので、と思って、この青空図書館をととして「図書館楽しそう！」図書館にくるきっかけになればと思っています。

Q. 普段の図書館の利用者はどういった方が多いですか？

A. 親子連れや高齢者の方が多く、20代や中高生の利用が少ないです。

Q. 中津川市立図書館ならではの特徴は何かありますか？

A. 月替わりの展示や季節に合った棚づくりや特集は司書のみならず職員みんなで頑張っています。あと、大型絵本がたくさんあることも特徴かもしれません。

Q. 本の貸し借り以外にも普段行っていることはありますか？

A. こども・おとな、それぞれを対象とした企画を実施しています。おはなし会、ハーバリウム作り、My手帳作りなど好評です。

Q. 今後図書館として取り組みたいことは何ですか？

A. 若い人にもっと来てもらえるようにしたいですね。図書館はひととの出会いの場でもあると思うので、そういったことにも取り組んでいきたいです。



職員の皆さん

こどもからおとなまで楽しい本を用意して待ってるよ～！

そもそも「スキマ」って？

スキマとは、道路・公園・河川などの公共空間、空き地・駐車場などの低未利用地、店舗や住宅の軒先など、物理的に空間を持て余している場所のことです。まちなかにはまだまだ使われていないスキマがたくさんあり、そのスキマを活用することは無限の可能性を秘めています。

私たちはこれまでに、中部電力跡地の空き地を活用し、青空図書館やマルシェの開催などの企画を行って来ました。しかし、

コロナ禍を経てイベントの開催に合わせた企画は日常に定着しづらいという課題を感じていました。そこで、2021年度からは新たに公共空間の活用に取り組んでいきます。



こんにちは！

私たちは、東京工業大学真野研究室と地元大学生で構成される「ナカツ-ノ-スキマ」です。

現在私たちは、中津川市をフィールドに、まちなかの活性化に向けて「スキマ」を活用した活動を行っています。

まちをどのように活性化する？

☞私たちの答えは「スキマを活用した企画の実施」です。

○活用で人が集まる



活用を起こす
プレイヤーが
存在

○日常的に人が集まる



スキマで過ごす人

まちなかで頻
繁に活動が起
こる

活用場所として
スキマを選
択する

これから
取り組みたいこと

1 プレイヤーを発掘する

2 企画場所として使えることを示す

3 スキマの日常的な使い方を示す